

創業から50年蓄積した技術力と提案力 金属加工のトータルサポートを 中国ほかグローバルに展開！

岐阜精器工業

岐阜精器工業（大田区中央、波
多野都喜男社長、03・3754・

8888、[http://www.gifu-seiki.](http://www.gifu-seiki.co.jp/)

co.jp）は、来年で創業50年を迎える。創業当初はカメラ用の金属部品加工を行っていたが、その後小型モータの金属ケースなどの製作を始めて事業拡大し、創業者の故郷岐阜県に生産工場を2拠点立ち上げた。これが社名の由来となっている。1990年代後半に取引先であるモータ工場の海外移転が加速し、波多野社長は受注減少の流れを打破すべく、2002年に中国広東省に工場を立ち上げて中国を中心にアジア地域にある電子部品メーカーへの販路拡大を図った。小型モータケースの製作で蓄積したプレス加工の中でも最難度の「絞り加工」を武器にグローバルな展開を進め、現在では、医療機器・スマートフォン関連部品など幅広い分野に部品を供給している。

また、2012年より中国内の

「絞り加工」など、長年磨いてきた
同社の高い技術力が窺える



協力工場ネットワークを活用して、切削加工、板金加工、メタルインジェクションモールドなどの加工販売も始めている。自社工場で生産しなくても、お客様満足のために輸出前の品質検査は徹底して行っている。試作品1つから海外調達できるサービスとなっているので、大学・研究機関からの問い合わせも多い。

試作から量産加工まで自在な対応力のもと、図面を見ればコストダウン、生産性向上の提案まで可能な同社。金属加工のトータルサポートには定評がある。

非常に厳しい状況の続く製造業を支え、今後も技術力と提案力を高めてお客様の需要に応えられるようスタッフ一同邁進していく。金属加工でお困りの方は、ぜひとも弊社へお問い合わせください。

試作品一つから 海外調達をサポート

自社海外工場での徹底した品質管理で安心安全に納入まで対応いたします。

